

■ エリア共通(那覇市全域)

項目	景観形成基準
位置等	・建物の配置や規模は、地域の特性や周辺の景観との調和に配慮します。 ・歴史的・文化的な資源に配慮した位置とします。
形態意匠	・都市に統一感を与える色彩とします。 ・周辺の景観と調和した形態意匠とします。
素材	・周辺景観と調和した素材を使用します。 ・歴史・文化や地域性を表す形態・意匠・素材等を積極的に活用します。
緑化等	・敷地内・境界・壁面・屋上の緑化など、周辺景観と調和した修景をします。 ・塀等は、修景に努めます。

■ 歴史エリア・重点地区(都市景観形成地域)

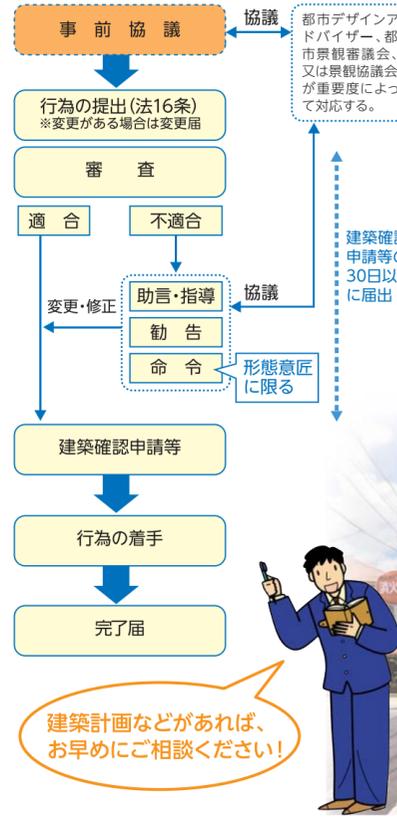
項目	景観形成基準
首里歴史エリア 識名歴史エリア	・屋根は、歴史的景観を創出するため、勾配屋根・赤瓦葺とするよう努めます。 ・囲い石垣は伝統的な琉球石灰岩の使用など、沖縄の歴史・伝統的な修景に努めます。 ・その他の垣・塀は、生垣やチニブ(竹)垣など伝統的な様式を活かします。 ・歴史的・伝統的な景観を際立たせるため、さらなる緑化を推進します。
首里歴史エリア	・建築物の最高高さは15m以下とします。 ※用途地域で高さ規制のない地域
首里金城重点地区 龍潭通り重点地区 豊屋重点地区	・景観計画における景観形成基準(全エリア共通)並びに首里金城地区及び龍潭通り地区においては首里歴史エリアを適用します。 ※都市景観形成地域の基準が適用されます

詳しくは、市ホームページをご覧ください。都市デザイン室までお問い合わせください。

市ホームページ
<http://www.city.naha.okinawa.jp/tokei/keikangyousei/index.htm>

お問い合わせ
都市計画課都市デザイン室
☎951-3246

■ 手続きの流れ



建物を建てる際には、届出を!

平成24年4月から「那覇市景観計画」および新しい「那覇市都市景観条例」を施行します。

市では、「亜熱帯庭園都市」那覇の快適で美しい景観をまもり、そだて、つくることを目的に「那覇市景観計画」および新しい「那覇市都市景観条例」を平成24年4月1日から施行します。

これに伴い、3階建て以上など一定規模以上※1の建物などをつくる場合や、外壁の塗り替えなどを行う際には、届出が必要となる場合があります。

※1:住居系の用途地域では10mを超えるもの、商業系では15mを超えるものが対象です。ただし、モノレールの沿線では10mを超えるものが対象となります。首里および識名の歴史エリアや重点地区については、別途基準があります。詳しくは市ホームページをご覧ください。都市計画課までお問い合わせください。

建築計画などがあれば、お早めにご相談ください!

県内初! 0歳から12歳まで通う学び舎

— あめくみらい幼保園、天久小学校開校(園)! —

あめくみらい幼保園 ☎891-3338

園舎の屋上はプールに
5歳児きりん組の部屋
園舎2階にあるデッキひろば

天久小学校 ☎891-3337

校舎屋上に設置された太陽光発電
広々とした地域・学校連携室
3階建ての校舎

保育所と幼稚園が一体化した「あめくみらい幼保園」と、市内で37校目となる「天久小学校」が4月に開校(園)! 幼保園と小学校は同じ敷地内にあり、園舎、校舎が連なっています。0歳から12歳までの園児、児童が通う保・幼・小の一貫教育施設として、県内初の複合施設です。

地域・学校連携室、児童クラブ、給食調理場も併設しているほか、車椅子の児童でも通えるように、エレベータを設置するなどバリアフリー化を徹底。また、太陽光発電が設置されているほか、トイレには雨水、再生水を活用するなど環境に配慮しました。

新都心地区の人口増加に伴い、新たに開校(園)するあめくみらい幼保園、天久小学校。4月から学校や保護者、地域が連携しながら、子どもたちにとって良い学習環境を整えていきます!

介護居室 残り少なくなりました。
《5室+5室(認知症エリア)》

見学予約受付中

Grand Home Port Hillock

介護付有料老人ホーム [グランドホーム ポート・ヒロック]

グランドホーム ポート・ヒロック

海邦病院グループ
浦添市牧港 5-7-7

手厚い介護スタッフの配慮(国の基準の2倍)、看護師24時間常駐

ゆとりと安心 上質な暮らし

自立~要介護5まで

お気軽にお問い合わせ下さい!
☎0120-87-1609

ヘルス・トリビューン vol.1
April.2012
健康の蔵り手

健康沖縄の幻想

Health is not built in a day

あなたを必要としている人がいます。たった一つの命だから、あなた1人だけの命じゃないから、「取り返しがつかない」言葉は聞きたくない。生活習慣の改善、定期健診の受診... あなたの意識1つで防げる病気がたくさんあります。大切な人のために、そして一人一人の笑顔が輝くまちづくりのために、「健康」について、これからの連続企画の中で一緒に考えていきましょう。

沖縄の現状

健康・長寿の島としてのイメージが強い沖縄県。しかし、腎臓病や糖尿病などにより亡くなる、働き盛りの割合が全国第1位であるなど、実は健康とは言えない現実があるのです。

沖縄県はファーストフード、居酒屋などの外食店の人口あたりの数が全国で一番多く、塩分・高カロリーの食事を摂取しやすい環境にあるのを知っていますか?(表1) さらに、マイカー志向による運動不足、美味しい泡盛に恵まれた過度の飲酒...と、私達を取り巻く環境は、昔よりも健康を脅かすものにあふれています。

およそ2人にひとりが肥満

このような食習慣や社会環境の変化は、県民の肥満率としても表れています。平成17年度の調査結果(表2)によると、沖縄は全国で最も肥満率が高く、県民のおよそ2人に1人が肥満ということが分かりました。肥満は、生活習慣病を発症する大きな要因の一つです。つまり2人に1人が健康にリスクを抱えているということになるのです。

	ハンバーガー	居酒屋	バー
1位	沖縄	沖縄	沖縄
2位	東京	東京	宮崎
3位	埼玉	青森	青森
...
45位	秋田	滋賀	千葉
46位	山口	岡山	埼玉
47位	島根	奈良	奈良

※人口10万人あたりの飲食店数順位(H18年)

つつい外食... だって美味しいお店がたくさんあるんだもん

「今後透析が必要になります」と医者から告げられた瞬間、目の前が真っ暗になりました。実際に透析が始まると、想像以上の辛さがありました。人が平等に与えられた24時間のうち、週3回5時間ずつを確実に奪われるのです。寝る時間、仕事の時間を差し引くと、残された時間が少ない。好きなことができない。旅行も行けない...。水分も1日500mlという制限があり、食事での水分摂取や服薬時に飲む水を除くと、お茶さえ満足に飲めないし、大好きなビールも飲めない。この事実をどうしても受け入れることができず、最初は家に引きこもってばかりでした。長年続けた観光業の仕事も辞めました。

思い返せば、病院で「腎臓が弱っていますね」と言われたことがありました。でも危機感はなく、食事療法が必要と言われても、少し意識する程度でした。あの時、もしちゃんと対処していれば今頃普通の生活を送っていたはずなのです。運動後に水を思い切り飲んだり、家族で旅行に行ったり、仲間と楽しく酒を飲み交わしたり...。たくさん後悔しました。

現在は沖縄腎臓病協会の事務局長として、発症の予防や、同じ苦しみを持つ人々の力になれるよう活動し、生きがいを持って生活しています。

今健康な人たちに伝えたいことは、「必ず定期健診を受けること」「要注意の結果が出たら必ず病院へ行くこと」「真剣に生活の改善に取り組み、病気を発症させないこと」です。

私のような失敗は誰にも体験させたくありません。一度悪くなった腎臓は元には戻りません。健康のありがたさを自覚し、今ある健康を大切にしたいと思います。

お問い合わせ 健康推進課 ☎862-9016